



2019年
12月03日
No.A19-08

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2019年11月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

- ・11月19日(火)、木内 登英 野村総合研究所エグゼクティブ・エコノミスト「日本経済の課題と今後の展望」(於:ザ・オークラ東京)



があった。そのうえで、日本の中東・北アフリカ外交等について説明があった。質疑ではイスラエル議会選挙の展望、シリア情勢の見通し等について質問が出た。



<要旨>

冒頭、日本経済の長期的な景気回復の背景について詳説した。そのうえで、日本経済の脆弱性、金融・財政政策の経済への影響、日本銀行の政策などについて解説した。質疑応答では、日本の金融政策の効果、アメリカ・中国間の経済対立などについて質問があった。

- ・11月11日(月)、横田 貴之 明治大学准教授「エジプト現状分析—スィーサー政権下の内政を中心に」(於:日本記者クラブ「会見場」)



(2) 中東情勢講演会

- ・11月6日(水)、河原 一貴 外務省中東・アフリカ局中東第一課長「最近の中東情勢—中東和平、シリア、トルコ、エジプトを中心に—」(於:日本記者クラブ「会見場」)

<概要>

講師より、中東和平の進捗状況、および、イスラエル、シリア、エジプト、トルコ、アルジェリア、リビア各国の情勢について解説

<概要>

講師より、エジプトのスィーサー政権下の内政について、ムスリム同胞団の現状を中心に説明がなされた。また、同政権下

では政治、治安、経済の安定が著しいが、政権が今後も市民から支持を得るためには、市民生活水準の向上というミクロレベルでの経済的安定の達成が必要になるとの指摘があった。

質疑では、ムスリム同胞団の社会活動の現状、トルコのエルドアン政権とムスリム同胞団の関係、エジプト外交等について質問が出た。

(3) 中東連続講演会

- ・11月22日(金)、モハメッド・エルミ駐日チュニジア大使「チュニジアにおける民主的選挙の成功と経済的挑戦」(於：日本記者クラブ「会見場」)



<概要>

はじめに、日本とチュニジアの長い友好関係や民主化を達成した経緯を説明した後に、現在チュニジア政府が経済発展のために推進する様々な取り組みが紹介された。カイス・サイード新大統領の下、チュニジアは引き続きパレスチナの自決権を支持し、国連安保理の非常任理事国(2020-2021年)として紛争の平和的解決に向けた多国間外交を推進すると述べられた。

質疑応答では、チュニジアの投資環境の最新状況や、イラクやシリア等の紛争地からの「帰還戦闘員」問題について質問が出た。

(4) 研究員発表会

- ・11月29日(金)、主席研究員 高岡豊、研究員 金子真夕「トルコとシリアから見る最近の情勢」(於：日本記者クラブ「会見場」)
- 演題①：金子真夕研究員「トルコから見た現状と展望」



<概要>

トルコがシリア北部への軍事進攻に踏み切った要因について、国際社会からの批判を浴びつつもトルコが実現したい目標について説明した。

- 演題②：高岡豊主席研究員「シリアの視点から見た現状と展望」



<概要>

トルコによるシリア侵攻について、シリアの立場から見た現状の分析と評価をした。その上で、「イスラーム国」の自称「カリフ」殺害なども踏まえた、今後の紛争の推移と復旧・復興を展望した。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2019年11月号(2019年12月03日付)

1. アルジェリア：12月大統領選挙に5名が立候補
2. イスラエル：「青と白」ガantz代表の組閣が失敗
3. イラク：抗議行動が拡大し、連日死傷者が出る
4. イラン：ガソリン価格引き上げを受けた抗議デモ発生の原因
5. サウジアラビア：アラムコ社の新規公開株式
6. トルコ：G20名古屋外相会合のためチャウシェオール外相訪日

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.7「2019年チュニジア大統領・議会選挙——非主流派の勝利、続く党派対立——」(11月27日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.9「「イスラーム国」が新たな「カリフ」と公式報道官を選任」(11月1日)
- ・No.10「新カリフへの忠誠表明から見える「イスラーム国」の衰退」(11月22日)
- ・No.11「EU諸国での「イスラーム国」の広報活動への対策」(11月26日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

- No.126「イラン：米国による経済制裁への対応」

(研究員 青木健太、11月1日)

No.127「イエメン：紛争の前線で捨て駒になるスーダン兵」(主席研究員 高岡豊、11月5日)

No.128「イラン：フォルドゥ核関連施設におけるウラン濃縮の開始」(研究員 青木健太、11月6日)

No.129「サウジアラビア・UAE：イエメン紛争の仲介と停戦協定「リヤド合意」」(研究員 高尾賢一郎、11月6日)

No.130「シリア：「ホホワイトヘルメット」の有力後援者が変死」(主席研究員 高岡豊、11月12日)

No.131「サウジアラビア：ツイッター・アカウント情報の窃盗容疑」(研究員 高尾賢一郎、11月12日)

No.132「ヨルダン：内閣改造(第4次ラッザーズ内閣)」(研究員 西舘康平、11月12日)

No.133「アルジェリア：大統領選挙立候補者リストの発表」(研究員 金谷美紗、11月12日)

No.134「UAE：連邦国民評議会と男女比問題」(研究員 高尾賢一郎、11月13日)

No.135「イスラエル・ヨルダン：租借地の利用期限が切れる」(研究員 西舘康平、11月13日)

No.136「トルコ：エルドアン大統領の訪米」(研究員 金子真夕、11月14日)

No.137「サウジアラビア：娯楽産業に向けた投資呼びかけ」(研究員 高尾賢一郎、11月15日)

No.138「シリア：トルコによる侵攻を経た軍事情勢」(主席研究員 高岡豊、11月15日)

No.139「イラン：ガソリン価格値上げを受けた抗議活動の発生」(研究員 青木健太、11月18日)

No.140「イスラエル・パレスチナ：アメリカがイスラエルの入植地への立場を転換」(研究員 西舘康平、11月19日)

- No.141「サウジアラビア：サウジアラムコの IPO をめぐる評価」（研究員 高尾賢一郎、11月20日）
- No.142「イスラエル・パレスチナ：PIJの対イスラエル攻撃力の飛躍的向上」（研究員 西館康平、11月20日）
- No.143「イラン：ガソリン価格値上げを受けた抗議活動の発生#2」（研究員 青木健太、11月21日）
- No.144「エジプト：シーシー大統領息子を総合諜報局副長官から解任か」（研究員 金谷美紗、11月21日）
- No.145「イラク：抗議行動と政治不信」（主席研究員 高岡豊、11月25日）
- No.146「トルコ：エルドアン大統領のカタル訪問」（研究員 金子真夕、11月27日）
- No.147「アフガニスタン：トランプ米大統領がターリバーンから交渉の主導権を奪取」（研究員 青木健太、11月29日）

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(5) その他の活動

- 11月12日（火）、トルコのヒュリエット・デイリー紙のムラット・イェトキン元編集長が来訪し、当会の研究員らと意見交換を行った。



3. その他

(1) 要人往来

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。

- 11月6～8日、中谷外務大臣政務官は第19回環インド洋連合（IORA）閣僚会合に出席するためアラブ首長国連邦を訪問した。
- 19日、安倍首相は訪日中のヨルダンのタラウネ下院議長から表敬を受けた。
- 20日、茂木外相はイランのザリーフ外相と電話会談した。
- 22日、茂木外相は訪日中のサウジアラビアのサウード外相と会談した。
- 22日、茂木外相は訪日中のトルコのチャウシユオール外相と会談した。
- 23～24日、鈴木外務副大臣は英国国際戦略問題研究所（IISS）が主催する第15回マナーマ対話に出席するためバハレーン王国を訪問した。

(2) 外務省人事

- 11月8日（金） 退職
レバノン大使 山口 又宏

4. 今後の予定（12月）

- 12月3日（火）、8:30～10:00、於：ザ・オークラ東京プレステータワー7階「メイプル」、朝食会（山内 昌之 中東調査会常任理事「勝者なき戦争-中東最新情勢-」）*法人会員限定
- 12月11日（水）、14:00～15:30、於：フォーリン・プレスセンター、「中東を知るセミナー」（研究員 青木健太「アフガニスタン政治の推移、特徴、展望～迷走する2019年大統領選挙と和平プロセス～」）

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもあります。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)